ORF2014

PRELIMINARY SESSION

PROTO-MUSIC

11 20 2014

SUPER DELUXE

OPEN 17:30 START 18:30

ENTRANCE ¥1,000 with 1 DRINK

慶應義塾大学SFC
OPEN RESEARCH FORUM 2014

PRELIMINARY SESSION 「LIVE」

11 20 2014
SUPER DELUXE

OPEN 17:30 START 18:30
ENTRANCE ¥1,000 with 1DRINK

PROTO-MUSIC
岩竹徹+CYBER SOUND PROJECT

音楽は有史以前から人類と共にあった。音楽は外敵から身を守るための武器であり、祈りや祝祭のための行為であった。「PROTO-MUSIC」は、まだ未分化な原始の音楽に立ち返り、音と我々の関係を見つめなおし、未来に向けて新たな音楽を創造する試みである。
リアルタイム信号処理による聴覚ゲシュタルトの拡大、アナログ楽器のコントロール、ライブコーディング、人工生命のエージェントによる創発、様々な角度からPROTO-MUSIC（音楽の新しい姿）を探求する。

PROGRAM

18:30 **PIP:Platonics Idol Platform LIVE**

19:00 **TALK SESSION**
牧野百男（前江市市長）脊山麻理子 濱野智史
熊坂賢次 若新雄純

20:15

20:30 **岩竹徹+CYBER SOUND PROJECT LIVE**
岩竹徹 村岡和樹 田所淳 魚住勇太

21:30

VENUE

SUPER DELUXE
〒106-0031 東京都港区西麻布 3-1-25 B1F
www.super-deluxe.com

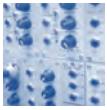
ACT
KEIO UNIVERSITY CYBER SOUND PROJECT

岩竹徹

1951年2月、東京の広尾生まれ。慶應義塾大学工学部、イリノイ大学音楽学部大学院修士課程、ハーバード大学音楽学科作曲博士課程を卒業。Ph.D.（ハーバード大学、1980）。ハーバード在学中は、MITのBarry Vercoeのスタジオ（メディアラボの前身）でコンピュータ音楽の研究を行う。1979年ガウデアムス国際作曲コンクール入賞、およびMBロックフェラー財団賞、1980年以降は、オーストラリア、カナダ、アメリカ、ヨーロッパからフェローとして招かれ作曲活動を行う。1990年に慶應義塾大学SFCに着任し、現在環境情報学部教授。

田所淳

1972年、千葉県生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科非常勤講師。東京藝術大学芸術情報センター非常勤講師。アルゴリズムを用いた音響合成による音楽作品の創作、ラップトップコンピュータを用いた音と映像による即興演奏などを行う。大学では、openFrameworks、Processing、Arduino、PureData、SuperCollider といった「クリエイティブ・コーディング」についての講義を行う。講義資料はWebサイト "http://yoppa.org" で公開、多くの学生やクリエイターに活用されている。



村岡和樹

岩竹徹研究会（CyberSoundProject）所属。サウンドデザイン、インターフェイス開発、ビート・リズム生成・音楽的ゆらぎの認知に関する研究に従事。2013年に音楽レーベルAdapt Recordsを設立、同レーベルからKazuki Muraoka名義でアナログEPをリリース。
関東を中心に、札幌、大阪などでもライブ活動を行う。ICMC2012ではインスタレーション作品 "Sonodial" でサウンドデザインを担当。ICMC2014にて自作ソフトウェア "L.F.Operator" を使用しライブパフォーマンスを行う。

魚住勇太

1978年奈良出身。電子音楽家。慶應義塾大学大学院エクス・デザインに所属後、博士号取得（政策・メディア）。「ギズモ」という独自の技法で、人工生命同士の補食関係/生態系の中からリズムやドローンを生み出す。ニューヨーク電子音楽祭をはじめ、バルセロナ、ベルファストなど、国際的な公演も行う。
2014年、SJQ++での活動でアルスエレクトロニカ・デジタルミュージック部門にて準グランプリ受賞（Award of Distinction）。現地Brucknerhausにて公演。

SFC OPEN RESEARCH FORUM 2014 / http://orf.sfc.keio.ac.jp/

※ 参加費は本イベントの運営資金に充当します。なお余剰が生じた場合には慶應義塾大学SFC Open Resarch Forumの運営資金として使用させていただきます。